

東京へ行きたい。▽

四郎の心に、東京での勉強と、イクグン大将の夢が大きくふくらんできました。明治十五年（一八八二年）の春、四郎は十七歳になっていました。

### 講道館柔道

上京した四郎は、陸軍の軍人になるために、ある学校に入学しましたが、イクグン大将の夢は、すぐにあきらめなければなりません。背が低くて、軍人になれないことがわかったのです。

そのころの四郎は、初めての東京で、住むところもなかったのです。柔術じゆじゆつを教えている井上敬太郎いのうえけいたろうという人の道場に、住み込みすみこみの弟子になりました。からだをきたえることも考えて住み込んだのですが、イクグン大将の夢が消え